

令和6年  
三重県沿岸海域に発生した赤潮

令和7年3月

三重県水産研究所

# 目 次

## 令和6年三重県沿岸海域に発生した赤潮の概要

令和6年の赤潮発生状況	1
有害種の発生状況	1-2
その他の特記事項	2
表1.赤潮発生状況（令和6年）	3-4
表2.漁業被害状況（令和6年）	5

### 【注】本報告における赤潮の定義

- ・ 学術的な赤潮の定義は、「プランクトンが異常に増殖し、海水が変色する現象」であるが、本県では、漁業被害の防止を目的に、それぞれの赤潮原因プランクトンの種類に応じて、あらかじめ注意すべき細胞数を定めている。
- ・ 本報告では、海水の変色がなくても、注意すべき細胞数を上回って確認された場合は赤潮とする。
- ・ 赤潮原因プランクトンのうち、主要な種の注意すべき細胞数は下表の通り。

赤潮原因プランクトン	注意すべき細胞数 (細胞/ml)
<i>Chattonella</i> 属	10
<i>Karenia digitata</i>	50
<i>Heterocapsa circularisquama</i>	
<i>Karenia mikimotoi</i>	100
<i>Cochlodium polykrikoides</i>	
<i>Mesodinium rubrum</i>	
<i>Gonyaulax polygramma</i>	1000
<i>Heterosigma akashiwo</i>	5000

# 令和6年三重県沿岸海域に発生した赤潮の概要

## ＜令和6年の赤潮発生状況＞

- 令和6年（1月1日～12月31日）の赤潮発生件数は6件であった（図1）。令和6年は、昭和54年以降で赤潮発生件数2番目に少なかった。なお、最も少なかったのは令和3年の4件である。
- 赤潮発生海域を図2に示す。
- 赤潮発生状況を表1に示す。
- Heterocapsa circularisquama* が、10月に英虞湾で確認された。同種の赤潮は令和5年に続き2年連続となった。

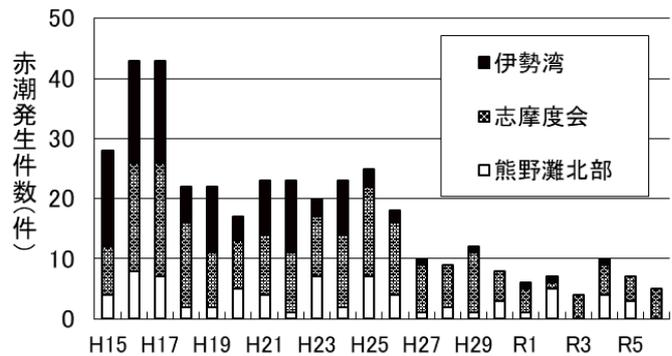


図1. 三重県沿岸海域における赤潮発生件数

## ＜有害種の発生状況＞

- Heterosigma akashiwo*、*Karenia mikimotoi*、*Chattonella* spp.、*Mesodinium rubrum* および *Heterocapsa circularisquama* の5種の有害種が確認された（表1）。
- 6月3日に尾鷲湾・引本浦で *H. akashiwo* 赤潮が発生した。最高細胞数は、8,150細胞/mL（6月3日、古里0m）で、6月5日に終息した。
- 7月1日に英虞湾で *K.mikimotoi* および *C.spp.* の混合赤潮が発生した。*K.mikimotoi* は最高細胞数 1,090細胞/mL（8月16日、田杭 10.7m）で、9月9日に終息、*C.spp.* は最高細胞数 492細胞/mL（7月8日、神明 2m）で、10月7日に終息した。
- 8月8日に五ヶ所湾で *K. mikimotoi* 赤潮が発生した。最高細胞数は、8,700細胞/mL（8月16日、礪浦湾口部 0m）で、9月5日に終息した。
- 8月21日に的矢湾で *C.spp.* 赤潮が発生した。最高細胞数は 402細胞/ml（8月21日、坂崎 0.5m）で、9月25日に終息した。
- 9月18日に鳥羽湾で *M.rubrum* 赤潮が発生した。最高細胞数は 129細胞/ml（9月18日、桃取沖 0.5m）で、9月24日に終息した。

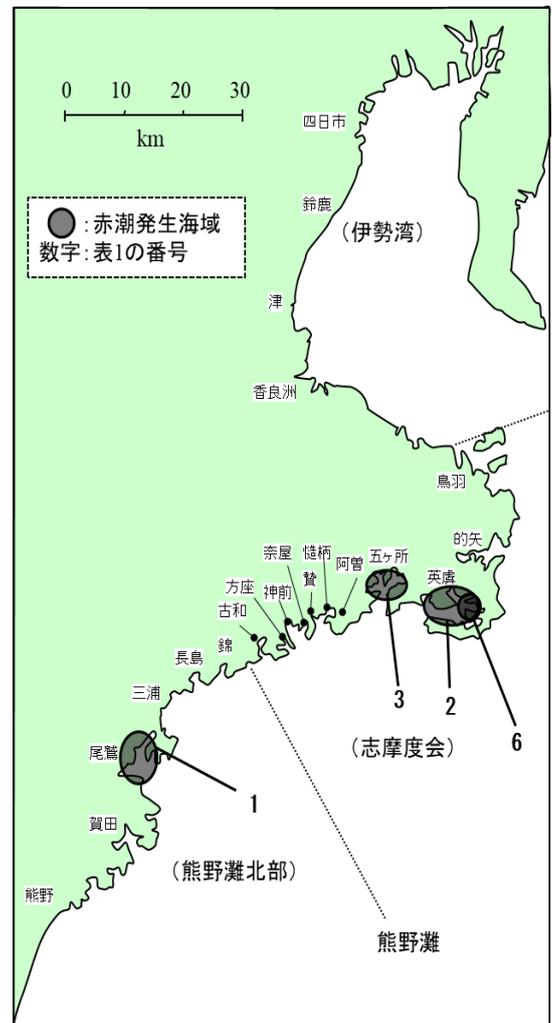


図2 赤潮発生海域

- ・ 10月25日に英虞湾で *H. circularisquama* 赤潮が発生した。最高細胞数は 106 細胞/ml（10月25日、大明神前 6.5m）で、10月28日に終息した。

#### <その他の特記事項>

- ・ 令和6年は赤潮による漁業被害がなかった（表2）。

表 1. 赤潮発生状況 (令和 6 年)

番号	発生時期	発生海域 ※1	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/mL)	漁業被害 (被害整理番号)	情報源 ※2
1	6.3-6.5	熊野灘北部 (尾鷲湾・引本浦)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	6.3 に尾鷲湾及び引本浦で <i>H.akashiwo</i> による赤潮が発生。最高細胞数は、8,150 細胞/mL (6.3 古里 0m) で、6.5 に終息。	<i>H.a.</i> 0	<i>H.a.</i> 8,150	無	尾鷲水研
2	7.1-10.7	志摩度会 (英虞湾)	<i>Karenia mikimotoi</i> <i>Chattonella</i> spp.	7.1 に英虞湾で <i>K.mikimotoi</i> および <i>Chattonella</i> spp. による赤潮が発生。 <i>K.mikimotoi</i> の最高細胞数は、1,090 細胞/mL (8.16 田杭 10.7m)、 <i>Chattonella</i> spp. の最高細胞数は、492 細胞/mL (7.8 神明 2.0m) で 10.7 に終息。	<i>K.m.</i> 10.7 <i>C.spp.</i> 2.0	<i>K.m.</i> 1,090 <i>C.spp.</i> 492	無	水研
3	8.8-9.5	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Karenia mikimotoi</i>	<i>K.mikimotoi</i> の発生期間中の最高細胞数は、8,700 細胞/mL (8.16 礪浦湾口部 0m) で、9.5 に終息。	<i>K.m.</i> 0	<i>K.m.</i> 8,7000	無	南セ、水研
4	8.21-9.25	志摩度会 (的矢湾)	<i>Chattonella</i> spp.	<i>Chattonella</i> spp. の最高細胞数は、402 細胞/mL (8.21 坂崎 0.5m) で、9.25 に終息。	<i>C.spp.</i> 0.5	<i>C.spp.</i> 402	無	水研
5	9.18-9.24	志摩度会 (鳥羽湾)	<i>Mesodinium rubrum</i>	9.18 に鳥羽湾で <i>M. rubrum</i> 赤潮が発生。最高細胞数は 129 細胞/mL (9.18 桃取沖 0.5m) で、9.24 に終息。	<i>M.r.</i> 0.5	<i>M.r.</i> 129	無	鳥羽市、水研、伊勢

6	10.25- 10.28	志摩度 会(英虞 湾)	<i>Heterocapsa circularisqua ma</i>	10.25 に英虞湾で <i>H.circularisquama</i> 赤 潮が発生。発生期間 中の最高細胞数は 106 細胞/mL (10.25 大明神前 6.5m) で、 10.28 に終息した。	<i>H.c.</i> 6.5	<i>H.c.</i> 106	無	水研
---	-----------------	-------------------	---	---	--------------------	--------------------	---	----

※1：発生面積は不明

※2：情報源の「漁」は漁業者、「鳥羽市」は鳥羽市水産研究所、「志摩市」は志摩市水産課、「南セ」は南伊勢町種苗センター、「水研」は三重県水産研究所、「鈴鹿水研」は鈴鹿水産研究室、「尾鷲水研」は尾鷲水産研究室、「伊勢」は伊勢水産室、「尾鷲」は尾鷲水産室の略

表 2. 漁業被害状況（令和 6 年）

整理 番号	被害 時期	被害発生 場所	赤潮 構成種名	養殖魚介類				漁獲物または蓄養魚介類					天然魚介類		
				魚種	被害 内容	被害尾数 (尾ほか)	被害金額 (千円)	漁業種類	魚種	被害 内容	被害 尾数 (尾)	被害 金額 (千円)	魚種	被害 内容	被害 量
						令和 6 年は赤潮による漁業被害がなかった									

令和7年3月発行

編集兼発行者 〒517-0404 三重県志摩市浜島町浜島 3564-3

## 三重県水産研究所

(養殖・環境研究課)

TEL 0599-53-0016

FAX 0599-53-2225

E-mail: [suigi@pref.mie.lg.jp](mailto:suigi@pref.mie.lg.jp)

<http://www.mpstpc.pref.mie.jp/SUI/>